

## 橋下大阪市長ビデオメッセージ

大阪市長の橋下徹です。皆さん、こんにちは。

すいません、今日はちょっと大阪市政改革で市役所を離れることができずに、そちらに伺うことができません。本当に申しわけありません。ついこの間、予算の議会が終わったんですけれども、いろんな課題を出し過ぎちゃいまして、5月議会、7月議会とたて続けに議会があるということで、すいません、本当にちょっと市役所を離れることができませんでした。

今回、このように道州制を推進するというので、知事と政令指定都市の市長が連合体を組むということ、これは本当にすごい力になると思っています。道州制というものが叫ばれてもう何年になるでしょう、何十年になるんでしょうかね。声ばかりで、やっぱり政治が本気になって進めることをこれまでしてきませんでした。でも、これは当たり前といえば当たり前で、本気で道州制やろうと思えば、ものすごい権力闘争になります。役所のその仕組み自体を変えるということですから、今の体制のままでいいという人は猛反対するでしょうし、今の体制を変えるというか、道州制を推進する側にとっては、これを変えろという声になる。体制を変えるということになれば、もう最後は話し合いでなくて、最後は戦、権力闘争、それで変えざるを得ないと思っています。

大阪においても、昨年11月27日の選挙で僕と大阪府知事の松井知事がダブル選挙で当選しましたけれども、やっぱり大阪府庁と大阪市役所という、この役所2つ再編するだけでも、この大阪の地においてもものすごい選挙戦になりました。

今回の道州制を推進する知事と政令指定都市の市長の連合のこの会合、これまでのように、単純な知事と市長の集まりだけで終わらせてはいけないと思っています。知事会とか市長会とか、いわゆる行政機関の集まりということではなくて、道州制を本気で変える、体制を変えるということになれば、ある意味政治的な力も持っていかねばいけないと思っています。政党に要望しても、国会議員の皆さんは本気で道州制をやろうとしているんだかどうか、よくわかりません。やっぱり今の身分を失うことになりまから、本気ではやりたくないというところがありあり、そのあたりが見えるんですけどね。

ですから、今回このように知事と政令指定都市の市長が集まったわけですから、これまでのように、単なる要望ではなくて、ある意味最終的には権力闘争、政治的な戦、すなわち選挙で決着をつけるというような、そういう腹をくくって、本気で道州制を目指してい

くような、そういう集まりにしたいと思ってます。

そのためにも、道州制をやるためには、消費税、これを地方税化まずしなければなりません。道州制をやるに当たって、今のまんまの地方交付税制度のままではいきません。ですから、僕は財源不足、財政規律を守るためにも、消費税の増税ということは、これはもうやむなしだという思いはあるんですけども、国税のまんまで増税なんてことはあり得ません。ですから、全国知事会も増税という声も強いですし、政令指定都市の市長会にはまだ僕は一度も出席していないんですが、何か消費税、地方のために増税して、そして地方のほうに1. 何%、1. 53%ですか、それ回せなんていうような、こんなシャビーな、しょぼい主張をされていては道州制なんかできません。ですから、今のままのこの消費税増税にはノーを突きつけて、地方交付税廃止、消費税は地方税化する、これがまず道州制を本気で進める第一歩だと思ってますので、この点については皆さんいろいろご意見あるかと思いますが、是非消費税の地方税化、地方交付税制度廃止、それにかわる新たな財政調整制度を地方の責任でつくる。今の地方交付税制度、これは明確に廃止を叫ばなければいけません。本気で道州制を目指しましょう。単なる議論だけでは何ひとつ進みません。最後は戦、権力闘争、選挙で決めざるを得ないと思ってます。頑張りましょう。